

10月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		13,910	100	13,530	105	95	87	69	0.5	北海道、青森、千葉産中心の入荷で全体の約9割を占める。青森産は播種遅れと低温で入荷少ない見込みも、終盤の北海道、千葉産とも前年と変わらず、総入荷量は前年並み、価格は前年よりやや安い、平年よりは高い見込み。
はくさい		15,133	ほぼ前年並み	13,844	68	103	69	2	0.0	長野、茨城産中心で全体の約9割を占める。長野産は地域により作柄に差異があるも総じて不良。後続の茨城産は入荷順調の見込みから、品薄感は現状よりも弱まり、価格は前年平年並みの見込み。長野産の回復次第であるが、総入荷量はほぼ前年並み。
キャベツ類		15,694	100	15,935	90	100	77	0	0.0	群馬、千葉産中心の入荷で。本年は群馬、千葉ともに作柄に大きな乱れはなく、昨年のような入荷の谷間はない模様。総入荷量は前年並みだがレタスの品薄感もあり、キャベツの引き合い強く、価格は高値だった前年並みの見込み。
ほうれんそう		1,360	100	1,469	567	93	543	1	0.1	群馬、茨城、岐阜産中心の入荷。群馬産は作付減の影響大きく前年より減少も、茨城、岐阜産は順調入荷の見込み。総入荷量は少なかった前年並み。価格は高値疲れから前年を下回る見込み。
ねぎ		6,008	100	5,697	260	93	270	592	9.9	青森、秋田、山形産中心の入荷。9月は稲刈り作業で少なめであったが、10月から入荷回復に向かう見込み。青森産は下位等級品の比率は高まるが、各地とも太りはよく、総入荷量は順調入荷した前年並み。価格は前年、平年よりもやや安い見込み。
きゅうり		5,810	95	6,013	330	100	286	55	0.9	埼玉、群馬、茨城、福島産が市況をリードする。10月は東北産の切りあがりは早まるが、関東産も2月雪害による作付減で入荷少なく、9月に引き続き品薄感は強い。総入荷量は前年を下回るが、価格は前年並みだが編年より高い見込み。
トマト		6,585	97	6,296	428	93	433	164	2.5	千葉、茨城、青森、熊本産中心の入荷となる。東北産の残量は少なく、終盤は品薄感強まる。関東産の入荷はおおむね順調で、西南暖地は出だしが少なく、総入荷量は前年をやや下回る。高値疲れより価格は前年を下回るが、販売状況によっては急騰の場面も想定される。